

「平成28年度外国人介護福祉士候補者受入事業に係る意見交換会」レポート

昨年度、道内では2名の外国人介護福祉士候補者の方が国家試験に合格し、この春から介護福祉士として道内の施設で勤務しています。道では、今後も受入施設から合格者が出るよう、4施設の候補者と支援担当者による意見交換会を開催しました。(期日:平成28年6月9日(木) 会場:深川第一病院)

○ 国家試験受験に係る報告

2名が合格した医療法人アソリー・デュナン会からは、「候補者が常に日本語で伝えようとするのが日本語の理解・習得に繋がる」、「候補者にやる気を起こさせながら学習を支援した」などといった報告がありました。また、合格者2名からは、「予習・復習が大切」、「自分に合ったテキストを探し、何度も繰り返し勉強することで力がついた」などといった報告がありました。

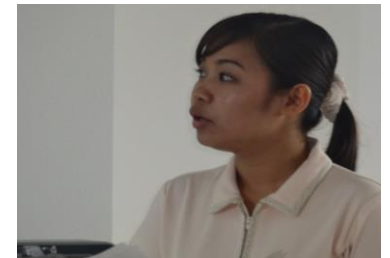


支援担当者による報告



報告に耳を傾ける参加者

質疑・応答では、自宅での学習時間数や試験直前の施設での支援体制などについて質問があり、受験を控えた候補者や支援担当者の方々が熱心に聞き入っていました。



合格者による日本語での報告

○ 意見交換

意見交換は支援担当者と候補者とに分かれて実施しました。支援担当者の方々は、候補者の日常の介護業務や日本語の学習方法などについて、それぞれの施設で抱える悩みや好事例を共有しました。候補者の方々は、日本語学習について不安な点を合格者に相談したり、合格者から勉強のコツやポイントについてアドバイスを受けていました。また、終始日本語で会話をするなど、合格に向けた意識の高さが伺えました。



合格者と候補者の意見交換の様子



合格者からアドバイスを受ける候補者



合格者と候補者との記念写真